

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 あゆみ				公表日 令和 8年 2月 27日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		グループの中でも園児を少人数化して対応し、運動遊びでは十分に体を動かして遊ぶスペースが確保されています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		基準よりも子どもにあわせて多く配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		スケジュールボード等を利用しながら視覚的にわかりやすいように設定しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		午前・午後の療育終了後に室内・玩具の消毒清掃を欠かさず行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		室内が広々としているので、必要に応じてパーティションで空間を仕切るなどの工夫をしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		ミーティングや処遇会議を行い職員の共通理解に努めています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者の意向や情報を収集し、改善につなげています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		随時、話し合いを行い職員の共通理解に努めています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	第三者による外部評価は行っていませんが、保護者様から頂いたご意見や自己評価の結果をもとに、業務改善に努めています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		各種の研修に参加し研鑽を積んでいる。また、法人内でも研修を実施し正規・臨時職員とも研修に参加しています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		法人のホームページに支援プログラムを作成し、公表しています。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		個別に面談をして支援計画に反映させています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		子どもの支援に携わるすべての職員が、子どもの状況を理解し検討会議を行っています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		支援計画に沿って、一人一人に合わせた支援の提供に努めています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		親子通園の為、その都度日々の様子を聞いたりアセスメントツールを用いてこどもの状況を確認しています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		個々のニーズや課題・保護者のニーズや気づきを踏まえた支援内容を、検討会議を実施しながら作成しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		発達状況に合わせて、保育士・児童指導員・療法士等協議しながら、チームで支援方法を考えています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		毎月、活動内容を考える際、いろいろな活動を取り入れています。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		毎回、個々に合わせて個別・集団の課題をみつけ療育案を設定しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		活動内容についてミーティングを行い子どもの関わり方についても把握・確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		療育終了後に子どもの行動について確認し、専門療法士が来園しているときはカンファレンスの中で対応について学び、共通理解を得ています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎日、個々の記録をとり、共有しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		個別支援計画を基に随時モニタリングを実施し計画の見直しにも繋げています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援管理責任者を中心に参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		嘱託医に年1～2回来てもらい、健康状態を把握し、支援を行っています。	関係機関との連携は、今後もさらなる充実を図っていけるようにします。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		並行通園先の保育園・幼稚園等との連絡会を実施し、支援内容等の情報共有と相互理解を図っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		すこやかファイル・支援シートを使用して連携を図っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>		センター主催の連絡会に参加し助言を受ける機会を設けています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>			今後、お子様のニーズ・保護者のご意向を確認し検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		保護者と登園するため、活動の前後に子どもの様子を伝えあっています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		ペアレントプログラムや勉強会を実施しています。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		入園時の面接のときに、重要事項をもとに伝えています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		契約時に本人や保護者の方のニーズを聞き出し、それに基づいた支援を考えています。また、面談時に新たなニーズがあれば、都度合う支援を考えています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		面談時に支援内容の説明を行い、保護者の方から同意していただいたうえで署名をいただいています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		相談内容によっては療法士や臨床心理士にも助言を頂いています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		仕事をされている保護者の方も多く、父母の会自体、賛否両論の意見がありますが、講師をお招きして保護者勉強会やリフレッシュ講座を行っています。	きょうだいの交流についての支援、は今後の検討課題として検討していきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		随時、相談など対応できるようにしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月おたよりを発行し配布している。また、法人のホームページやSNS等を活用し活動の様子や行事を発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		法人のプライバシーポリシーに基づき面談時に説明し同意を得ています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		状態に応じて、視覚支援等を用いながら情報の伝達を行ったり、意思の疎通ができるよう努めています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		音楽会を実施し地域の方が参加されました。	利用者の中には、周りに知られたくない方もいるので難しいですが、お子様のニーズ・保護者のご意向を確認し検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを策定し、職員・家族への周知を行い、訓練を実施しています。	マニュアルについて職員会議で対応方法などの確認を行い、訓練に繋がっています。また、より安心して利用していただけるよう、保護者への周知も努めています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を策定し、毎月避難訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		入園前面接時に確認しています。	すでに契約されている利用者についても、定期的に確認を行っていくようにします。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		現在、食物アレルギーのお子さんはいませんが入園前面接時で聞き取りをして個々に応じています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に基づいた研修や訓練を行っています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に非常時の対応について説明を行っています。	保護者への周知の仕方を、活動写真を使用しながら伝えるなど掲示の仕方を含め、工夫していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		作成した記録簿を職員間で回覧して改善や注意点について共有し、再発防止に向けた対策を立てています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎年、虐待に関する研修を実施しています。	今後も、チェックリストを活用し、職員一人一人が虐待に関して更に、意識を高められるよう取り組んでいきます。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		親子登園のため、療育の様子を参観してもらっています。その上で児童発達支援計画にも記載し了解を得ています。		